

平成22年11月期 第1四半期決算短信

平成22年4月5日

上場会社名 日医工株式会社

上場取引所 大 名

コード番号 4541 URL <http://www.nichiiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤根 賢治

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

TEL 076-432-2121

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第1四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年11月期第1四半期 | 14,715 | 13.7 | 2,163 | 62.4 | 2,134 | 59.9 | 1,069 | 103.9 |
| 21年11月期第1四半期 | 12,940 | — | 1,331 | — | 1,334 | — | 524 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年11月期第1四半期 | 34.66 | 34.64 |
| 21年11月期第1四半期 | 17.00 | 16.98 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年11月期第1四半期 | 57,557 | 19,412 | 33.7 | 629.33 |
| 21年11月期 | 57,466 | 18,809 | 32.7 | 609.79 |

(参考) 自己資本 22年11月期第1四半期 19,412百万円 21年11月期 18,809百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年11月期 | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |
| 22年11月期 | — | — | — | — | — |
| 22年11月期(予想) | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|--------|--------|------|-------|-----|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 | 29,700 | 11.3 | 3,200 | 2.8 | 3,150 | 2.2 | 1,850 | 14.0 | 59.98 |
| 連結累計期間 | 63,500 | 15.9 | 6,600 | 5.7 | 6,500 | 6.2 | 3,800 | 1.0 | 123.20 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年11月期第1四半期 | 31,204,917株 | 21年11月期 | 31,204,917株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年11月期第1四半期 | 357,864株 | 21年11月期 | 359,740株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年11月期第1四半期 | 30,845,614株 | 21年11月期第1四半期 | 30,853,408株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、平成20年からの急速な世界経済減速の影響から、やや持ち直しの動きが見られつつありますものの、生産設備や労働力の過剰感が根強く、デフレ状態も持続していることから、依然として予断を許さない状況が続いております。

医薬品業界におきましては、本年4月に診療報酬改定と薬価改定が実施され、ジェネリック医薬品の使用促進策としての後発医薬品調剤体制加算点数に大幅な引上げが折込まれており、調剤薬局を中心としたジェネリック医薬品の使用拡大が期待されております。

このような状況において当社は、ジェネリック医薬品の品質・生産能力・生産性の向上を目的として滑川第一工場（富山県滑川市）に大型設備投資を行い、本年4月1日から稼働いたしました。また、グローバル基準に対応した世界に挑戦する開発拠点として、ジェネリック医薬品の開発・生産・品質管理に一体で取組むグローバル開発品質管理センター「ハニカム棟」の建設を計画しており、本年11月に着工し、竣工は平成23年12月を予定しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が147億15百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益が21億63百万円（同62.4%増）、経常利益が21億34百万円（同59.9%増）となりました。また、「ハニカム棟」建設に伴う滑川第一工場の除却予定額を減損損失として特別損失に計上しましたが、繰延税金資産の回収可能性を見直したことによる税金費用の減少により、四半期純利益は10億69百万円（同103.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、575億57百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が2億23百万円、たな卸資産4億21百万円それぞれ増加したものの、「ハニカム棟」の建設に伴い既存建物の除却予定額を減損損失として計上したことなどに伴い有形固定資産が6億34百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ5億12百万円減少し、381億44百万円となりました。これは長短借入金の純増加額が21億5百万円あったものの、支払手形及び買掛金が4億91百万円、未払法人税等が9億24百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ6億3百万円増加し、194億12百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、当第1四半期連結会計期間において9億68百万円の支出超過（前年同四半期比5億6百万円減）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益15億8百万円、減価償却費の計上4億42百万円、法人税等の支払額14億34百万円、未払費用の減少7億43百万円、仕入債務の減少4億91百万円、たな卸資産の増加4億21百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当第1四半期連結会計期間において5億8百万円の支出超過（同20億13百万円減）となりました。これは製造販売権の承継により無形固定資産の取得による支出が4億50百万円あったことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、当第1四半期連結会計期間において16億2百万円の収入超過（同23億72百万円減）となりました。これは業容の拡大に伴い長短借入金の純増加額が21億5百万円あったことや、配当金の支払額が4億63百万円あったことなどによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億25百万円増加し、11億48百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年1月14日に公表致しました連結業績予想から修正を行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産につきましては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(棚卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,670,746 | 1,545,387 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,633,506 | 14,410,021 |
| 有価証券 | 1,666 | 1,666 |
| 商品及び製品 | 10,367,245 | 9,931,532 |
| 仕掛品 | 2,612,777 | 2,685,719 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,569,370 | 3,510,942 |
| その他 | 2,320,454 | 2,210,015 |
| 貸倒引当金 | △422,000 | △421,000 |
| 流動資産合計 | 34,753,766 | 33,874,286 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,518,517 | 4,989,859 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,772,730 | 1,896,045 |
| 土地 | 3,414,764 | 3,414,764 |
| 建設仮勘定 | 6,627,855 | 6,626,805 |
| その他（純額） | 769,565 | 809,974 |
| 有形固定資産合計 | 17,103,432 | 17,737,449 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,014,118 | 1,004,048 |
| その他 | 2,127,836 | 2,270,288 |
| 無形固定資産合計 | 3,141,954 | 3,274,337 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,455,719 | 1,459,754 |
| その他 | 1,184,695 | 1,196,878 |
| 貸倒引当金 | △82,338 | △76,338 |
| 投資その他の資産合計 | 2,558,076 | 2,580,295 |
| 固定資産合計 | 22,803,464 | 23,592,082 |
| 資産合計 | 57,557,230 | 57,466,368 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,015,810 | 11,507,397 |
| 短期借入金 | 13,767,731 | 11,425,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,677,092 | 1,471,436 |
| 未払法人税等 | 575,927 | 1,500,284 |
| 返品調整引当金 | 40,000 | 39,000 |
| 賞与引当金 | 337,954 | — |
| その他 | 2,271,554 | 3,785,932 |
| 流動負債合計 | 29,686,070 | 29,729,050 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,445,804 | 4,888,847 |
| 退職給付引当金 | 2,588,612 | 2,577,677 |
| その他 | 1,423,910 | 1,461,620 |
| 固定負債合計 | 8,458,326 | 8,928,145 |
| 負債合計 | 38,144,397 | 38,657,195 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,064,257 | 3,064,257 |
| 資本剰余金 | 1,838,280 | 1,837,737 |
| 利益剰余金 | 14,624,218 | 14,017,801 |
| 自己株式 | △421,688 | △423,731 |
| 株主資本合計 | 19,105,068 | 18,496,064 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 43,937 | 49,281 |
| 土地再評価差額金 | 263,826 | 263,826 |
| 評価・換算差額等合計 | 307,764 | 313,108 |
| 純資産合計 | 19,412,833 | 18,809,173 |
| 負債純資産合計 | 57,557,230 | 57,466,368 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 12,940,650 | 14,715,221 |
| 売上原価 | 7,220,407 | 7,728,511 |
| 売上総利益 | 5,720,243 | 6,986,710 |
| 返品調整引当金繰入額 | — | 1,000 |
| 返品調整引当金戻入額 | 17,835 | — |
| 差引売上総利益 | 5,738,078 | 6,985,710 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,406,187 | 4,822,501 |
| 営業利益 | 1,331,890 | 2,163,208 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 683 | 1,275 |
| 受取配当金 | 4,074 | 4,109 |
| 負ののれん償却額 | 57,447 | 57,447 |
| 共同開発費用分担金 | 26,885 | — |
| その他 | 21,781 | 35,338 |
| 営業外収益合計 | 110,872 | 98,170 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 68,431 | 58,718 |
| 支払手数料 | — | 34,472 |
| 手形売却損 | 23,162 | 13,248 |
| 売上債権売却損 | — | 18,223 |
| その他 | 16,250 | 2,461 |
| 営業外費用合計 | 107,843 | 127,125 |
| 経常利益 | 1,334,919 | 2,134,254 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,228 | 139 |
| 貸倒引当金戻入額 | 8,944 | — |
| 特別利益合計 | 11,172 | 139 |
| 特別損失 | | |
| たな卸資産評価損 | 384,510 | — |
| 固定資産処分損 | 961 | 837 |
| 減損損失 | — | 370,946 |
| 投資有価証券評価損 | 2,411 | 28,164 |
| 工場休止関連費用 | 10,755 | 225,670 |
| 特別損失合計 | 398,638 | 625,617 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 947,453 | 1,508,776 |
| 法人税等 | 423,025 | 439,681 |
| 四半期純利益 | 524,428 | 1,069,094 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 947,453 | 1,508,776 |
| 減価償却費 | 418,753 | 442,020 |
| 減損損失 | — | 370,946 |
| のれん償却額 | 47,377 | 47,377 |
| 負ののれん償却額 | △57,447 | △57,447 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △8,944 | 7,000 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 18,833 | 10,934 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | △17,835 | 1,000 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 350,569 | 337,954 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △21,500 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,758 | △5,384 |
| 支払利息 | 68,431 | 58,718 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △2,228 | △139 |
| 固定資産処分損益 (△は益) | 961 | 837 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 2,411 | 28,164 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △802,593 | △223,265 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △846,600 | △421,197 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 840,397 | △491,587 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △631,607 | △743,880 |
| その他 | △46,156 | △355,489 |
| 小計 | 255,518 | 515,338 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,112 | 5,269 |
| 利息の支払額 | △47,887 | △54,475 |
| 法人税等の支払額 | △1,687,172 | △1,434,169 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,474,429 | △968,037 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △6,000 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,269,505 | △39,431 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,228 | 9,341 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △450,000 |
| 無形固定資産の売却による収入 | 121,500 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △234,975 | △31,280 |
| 貸付金の回収による収入 | 248 | 178 |
| その他 | △135,532 | 2,371 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,522,037 | △508,821 |

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 4,807,851 | 2,342,731 |
| 長期借入金の返済による支出 | △261,437 | △237,387 |
| 自己株式の取得による支出 | △185,017 | △313 |
| 自己株式の売却による収入 | 304 | — |
| ストックオプションの行使による収入 | 16,070 | 2,900 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | — | △42,235 |
| 配当金の支払額 | △403,239 | △463,488 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,974,531 | 1,602,207 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 8 | 9 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △21,927 | 125,358 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 544,367 | 1,022,823 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 522,439 | 1,148,181 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）

当第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）

単一セグメント（医薬品事業）のため、いずれも事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）

当第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）

在外子会社等がないため、いずれも所在地別セグメント情報は記載しておりません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）

当第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。